

歌川広重

保永堂版『東海道五拾三次 絵巻』

ボストン美術館が世界に誇る浮世絵コレクション

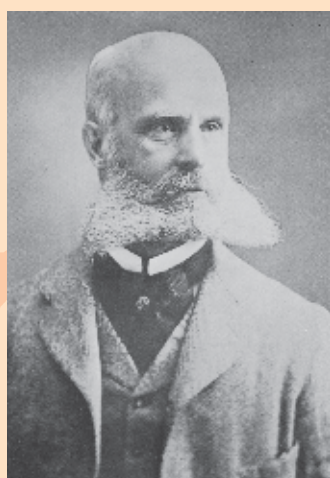
一八七〇年の創立以来、ボストン美術館の浮世絵（版画、版本、肉筆画）所蔵作品数は五万四千点以上と膨大な量にのぼり、海外における世界一の浮世絵コレクションとして知られています。

その歴史は古く、約二百名におよぶ識者、篤志家による寄贈と基金による購入から成るもので、とりわけ十九世紀後半に日本に滞在し、作品を熱心に蒐集したビゲロー博士の寄贈作品三万四千余点、広重の作品に限定すれば、スポルディング兄弟による六千五百点余りの見事な版画の寄贈はつとに有名です。そのスポルディング・コレクションは、寄贈の条件としてボストン美術館はもとより、いかなる場所でも原画の公開展示が禁止されており、貴重なコレクションとして超一流の品質と価値を保持しています。

保永堂版『東海道五拾三次』のベスト作品からなる一大絵巻

歌川広重の保永堂版『東海道五拾三次』もまたボストン美術館には五百点以上の作品が所蔵されており、初版を含めた保永堂版の中からボストン美術館版画室長でキュレーターのセーラ・E・トンプソンが芸術性、保存状態の優劣を基準に時間をかけて厳選した逸品が今回の五十五点です。

いわばベスト中のベスト作品からなる一大絵巻です。今回の絵巻は、スポルディング・コレクションから四十六点、ビゲロー・コレクションから八点、カーター・コレクションから一点の合計五十五の作品で構成されています。



ウィリアム・スタージェス・ビゲロー
(1850~1926)
©Museum of Fine Arts, Boston



ウィリアム・S・スポルディング
(1865~1937)
©Harvard University Archives



ジョン・T・スポルディング
(1870~1948)
©Harvard University Archives

史上初の絵巻化による連続画面がもたらす迫力

厳選された五十五点（五十三の宿駅、出発地の日本橋と終着地の京都の二点）の作品を上下二巻の卷子に分け、これまでに実現できなかった東海道シリーズの全作品を一連の旅の流れの中でとらえ、江戸時代の東海道の旅を時系列に吟味できる絵巻化は史上初めての試みです。

その動的効果はリアルな感興を呼び起こす新しいメディアとして現代人の趣向に合致する美術鑑賞法といえます。

浮世絵版画のメディア化がもたらした相乗効果

東海道の旅情報に口コミを通じて人から人へと広く流布され、宿場とその近郊の名所名物が喧伝されるようにもなります。そうした時代の風潮に応える情報メディアとして登場したのが大判の多色摺りの「浮世絵版画」であり、そうした大量生産の発想が複製技法の進化と新興の出版業の抬頭を可能にしました。

江戸庶民を対象にした新しいメディアの確立が更なる相乗効果を生み、歴史に残る名作の誕生につながったものといえます。

浮世絵風景画シリーズの最高傑作・保永堂版『東海道五拾三次』

幕末の爛熟した町人文化のなかで、庶民の欲求とニーズに合った名所シリーズとして広重が発表したのが保永堂版『東海道五拾三次』であり、見事な成功を収めました。その数年前に刊行された葛飾北斎の『富嶽三十六景』の斬新な作風に刺激され、広重はそこに西洋式の遠近法などの大胆な構図をも採用し、浮世絵風景画の新境地を開拓しています。

広重の偉大な点は、単なる名所図会の枠内に踏みとどまらず、画面に風や雨などの自然現象や季節感、四季の風物や行事、人々の生々しい仕種や表情、ドラマチックともいえる躍動感のある描写に挑み、傑出した能力と個性を発揮している点です。広重は二十種類ほどの「東海道」シリーズを手掛けていますが、今日でも世界的名作として評価されているのは最初に刊行された保永堂版のみです。

歌川広重

うたがわ・ひろしげ 一七九七（寛政九）年〜一八五八（安政五）年

幕府の定火消同心の安藤家に生まれる。父親の死亡にともない、十三歳で家督を継ぐが、絵師を志し、十五歳のころに歌川豊広に入門し、広重の名を許される。当初は役者絵、武者絵、美人画なども描いていたが、一八三一年（天保三）年には正式に同心職を退き、絵師の仕事に専念する。天保初年に制作した『東都名所』の評判が巷で高まり、風景画の絵師としての自覚と自信が芽生え、つづく『東海道五拾三次』で、一躍人気絵師としての地位を確立する。それ以降も『本朝名所』『名所江戸百景』などの数多くのシリーズものの名所図会や物語絵などを手掛け、また肉筆浮世絵などの秀作も残している。六十一歳で没する。

保永堂版『東海道五拾三次 絵巻』掲載作品

上巻 東海道五拾三次之内（二十八点）

1	日本橋	朝之景	11	箱根	湖水図	21	鞠子	名物茶店
2	品川	日之出	12	三島	朝霧	22	岡部	宇津之山
3	川崎	六郷渡舟	13	沼津	黄昏図	23	藤枝	人馬難立
4	神奈川	台之景	14	原	朝之富士	24	嶋田	大井川駱岸
5	保土ヶ谷	新町橋	15	吉原	左富士	25	金谷	大井川遠岸
6	戸塚	元町別道	16	蒲原	夜之雪	26	日坂	佐夜ノ中山
7	藤沢	遊行寺	17	由井	薩埵嶺	27	掛川	秋葉山遠望
8	平塚	細手道	18	奥津	興津川	28	袋井	出茶屋ノ図
9	大磯	虎ヶ雨	19	江尻	三保遠望			
10	小田原	酒匂川	20	府中	安部川			

下巻 東海道五拾三次之内（二十七点）

29	見附	天竜川図	39	岡崎	矢矧之橋	49	阪之下	筆捨嶺
30	浜松	冬枯ノ図	40	池鯉鮒	首夏馬市	50	土山	春之雨
31	舞坂	今切真景	41	鳴海	名物有松絞	51	水口	名物干瓢
32	荒井	渡舟ノ図	42	宮	熱田神事	52	石部	目川ノ里
33	白須賀	汐見坂図	43	桑名	七里渡口	53	草津	名物立場
34	二川	猿ヶ馬場	44	四日市	三重川	54	大津	走井茶店
35	吉田	豊川橋	45	石薬師	石薬師寺	55	京師	三條大橋
36	御油	旅人留女	46	庄野	白雨			
37	赤阪	旅舎招婦之図	47	亀山	雪晴			
38	藤川	棒鼻ノ図	48	関	本陣早立			



◆『絵巻観賞用スタンド』(別売)
スクロールしながら見る絵巻本来の鑑賞法で、江戸から京都までの一連の旅の流れをスムーズに鑑賞できます。また、お気に入りの一枚を選び、お飾りいただくこともできます。
寸法（約）幅56cm×奥行き19cm×高さ19cm 材質 アクリル 重さ約1.2kg
標準価格 19,800円（税別）



◆浮世絵版画室にてオリジナル作品との検証
今回の特別企画のために、美術館所蔵の保永堂版『東海道五拾三次』の中から厳選されたオリジナル作品全55点と日本から持参した絵巻刷見本とを1点ずつ比較、検証し、色彩、質感などの再現性に重点を置いた完璧な複製品に仕上げています。



◆断裁から表装まですべて1巻きずつ伝統的な手作りで完成
特殊長尺印刷で再現された作品を熟練の表具師が丁寧に断裁してゆきます。



◆ボストン美術館
1870年にマサチューセッツ州ボストンに地元の篤志家により創立。アメリカ独立百周年にあたる1876年に一般公開。付属の美術学校も併設。1909年に現在地に移転。世界中から集めた約50万点の美術品を所蔵。現在では入場者数が、年間百万人を超える全米屈指の美術館。開館当初から日本との関係も深く、浮世絵、絵画、刀剣、甲冑、陶磁器など日本美術の逸品を数多く所蔵しており、明治末から大正初めにかけて同館天心が東洋美術部のキュレーターとして在職。敷地内には彼を顕彰する日本庭園「天心園」がある。
Museum of Fine Arts, Boston Bank of America Plaza on the Avenue of the Arts
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston

